

あいさつについて

新学期が始まって、約半月が経ちました。新しいクラスには慣れてきたでしょうか？春は出会いの季節です。そして出会ってすぐにコミュニケーションをとるときに大切なのはあいさつですね。朝、正門に立っていると、今年の1年生はとても元気にあいさつをしてくれる人が多いです。深川二中を、元気なあいさつが飛び交う学校にしていきたいですね。そういう意味も含めて、4月13日の朝礼ではあいさつについてのクイズを出しました。その内容を簡単に掲載します。

問題1 次の言葉の語源は？（出典：日本文化いろは事典）

- ・おはよう→「お早くから、ご苦労様でございます」
- ・こんにちは→「今日は、ご機嫌いかがですか」
- ・さようなら→「左様ならば（それならば）私はこれで失礼いたします」

※短いあいさつの中に、こんな思いが込められているのですね。

問題2 「いってきます」という言葉は、何という言葉が合体してものでしょうか？

→行きます+帰ってきます

※昔の旅は多くの危険がありました。行ったら必ず帰ってくるという意志（願い）が込められているとのことです。

問題3 「ありがとう」の反対は？→「当たり前」

（解説）「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」になります。「有る」ことが「難しい」…つまり、「滅多にない」「珍しくて貴重だ」という意味です。だから「有り難う」の反対は「当たり前」になるということです。「当たり前」ではないことをしてもらった時には、「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉にしましょう。

問題4 『ONE PIECE（ワンピース）』で何かをしてもらったり、助けられたりしたとき、ルフィたちは何て言うか？→「ありがとう」（作者のこだわりです。）

これは、こだわり、あります。ゾロなんか特に、照れて言葉をかえそうなキャラクターですけどね。ぼくからしてみれば、そういう時にカッコつけて言葉を濁すような奴は、逆にカッコ悪いと思いますので、セリフの流れとして相当変にならない限り、一番ストレートな「ありがとう」と言って貰う事にしています。

作者：尾田 栄一郎・『ONE PIECE』コミックス 86 巻 SBS(質問コーナー)

クイズを通してあいさつに関心を持ったところで、あいさつに大切な事柄「目、表情、声、先に」を実践してほしいという話もしました。素敵な挨拶をすると、清々しい気持ちになります。良好な人間関係を築いていくためにも、さわやかなあいさつをするようにしていきましょう。

挨拶で大事なことは

目・アイコンタクト（目を見て）

表情・笑顔で（相手も嬉しくなる）

声・元気に（聞き取りやすいトーン）

先に・進んでコミュニケーション

新入生歓迎会

4月9日（木）3時間目に新入生歓迎会がありました。1年生に対してまずは生徒会役員がスライドを使って、学校生活や委員会、部活、行事などをわかりやすく説明しました。そして、ソーラン隊の生徒が、歓迎会のためにアレンジしたソーラン節を披露しました。1年生はきっと、「あれもやりたい、これもやりたい」という期待にあふれたことと思います。いろいろなことに挑戦してほしいと思います。



部活動説明会

4月14日（火）3時間目に部活動紹介がありました。1年生が中学校生活で楽しみにしていることのひとつが部活動だと思います。2・3年生の先輩は、どの部もそれぞれに工夫をして、紹介をしてくれました。仮入部期間は5月1日までです。1年生は今日の部活動紹介を参考にして、いろいろな部活動を見て回り、3年間頑張れそうな部活動を考えてみてください。

